

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(4月27日～5月6日)

2021年5月13日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- エルシモナ中央選挙・国民投票委員会委員長が、憲法改正の国民投票を、来年1月16日に実施期限を迎える地方議会選挙と同時に実施する可能性を示唆。(4/27)
- ルカシェンコ大統領、2020年8月の大統領選挙の結果に対する抗議活動を支持した元軍人や治安機関職員計80名以上の称号を剥奪するための大統領決定第174号に署名(5/4)
- G7外相会合がロンドンで開催され、ベラルーシの政権に対して自由で公正な選挙の実施を呼びかけ。(5/5)

【ルカシェンコ大統領動静】

●ゴロフチェンコ首相と会談

ルカシェンコ大統領は、欧州諸国がベラルーシに対して制裁で脅しをかけているとして、報復なしで済ませてはならないと強調。政府に対して、外務省と共に西側諸国の人道的プログラムと言われる活動に目を光らせるよう指示。それらの活動を行うNPOや外国エージェント、様々な種類のならず者たちは、暴利をむさぼる活動などを行っているとして、これらの組織や情報メディアの登録見直しを決めたと発言。

(5/4 大統領公式サイト)

●2020年8月の大統領選挙の結果に対する抗議活動を支持した元軍人や治安機関職員計80名以上の称号を剥奪するための大統領決定第174号に署名

(5/4 ベラパン通信)

●ドドン・モルドバ前大統領とミンスク郊外で非公式に面会。

ドドン氏の発言要旨は以下のとおり。

・(昨年のベラルーシ大統領選挙後の抗議活動を含む国内の状況に触れ、)あなた方が状況を制御できて良かった。

・同様のことは我が国(モルドバ)でも準備されている。(同国で今夏に任期満了前の議会選挙の実施が予定されていることを念頭に、)我が国では前倒し選挙があり、その日に向けて彼らはことを試みるだろう。しかし、あなたが例を示してくれた。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下のとおり。

・(昨年の大統領選挙後の抗議活動を含む国内の状況に触れ、)こうした状況は予想外であった。何の根拠もなく起こったことであった。もし、ベラルーシに貧富の格差や寡頭支配体制が実在していたら、現在のような外圧の中で状況を制御することはできなかったであろう。

・(ベラルーシとロシアの当局が協力して阻止したとされるルカシェンコ大統領親子に対する侵害企図について触れ、)悪党たちは何も分かっていない。彼らは(計画を実行しても)何も得ることはない。得られるとしたら、彼らのスポンサーにとってより悪い結果だけだ。彼らは、大統領を殺害したら国民が喝采すると思っているのだ。そんなことにはならない。

(5/5 TUT.BY)

●国家の職務に関する法規の改善に関する会議に出席。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下のとおり。

・国家機関には、高い教育を受け、目的意識が強く、重要な課題を速やかに解決する能力を有する専門家を集めれば良いというものではない。実際の意味で国家のための人々が必要なのである。

・人材が揃えば、制度も機能する。職員は、職務に就くにあたって、自らの主要な義務が国とベラルーシ国民に使えることであることを理解しなければならない。

(5/6 大統領公式サイト)

【外交】

●欧州のニュース専門 TV 局 Euronews によるマケイ外相インタビュー

マケイ外相の発言要旨は以下のとおり。

- ・抗議活動の参加者たちは故なく逮捕されたわけではなく、犯罪と違法行為の廉で逮捕された。不公正な形で逮捕された者は解放されている。
- ・国の運命と人権を秤にかけることになった場合、如何なる国の指導層であれ、国家の独立と主権を選ぶであろう。
- ・憲法改正案は 8 月 1 日までに準備され、広く社会における討議に掛けられる。
- ・EU などの西側諸国がベラルーシに対して採っている制裁は、(ベラルーシと)ロシアとの統合プロセスの更なる進展と強化を促すだけである。

(5/3 TUT.BY)

●G7 外相会合がロンドンで開催され、ベラルーシの政権に対して自由で公正な選挙の実施を呼びかけ。

同声明は、ベラルーシ政権に対して社会のあらゆる層との建設的対話を開始するよう呼びかけるとともに、新たな、公正で自由な選挙を国際監視の下で実施することを呼びかけた。

(5/5 ベラパン通信)

●グラス外務省報道官、G7 外相会合コミュニケに対してコメント

同報道官のコメント要旨は以下のとおり。

- ・(コミュニケの)ベラルーシに「授けられた」パラグラフについては、聞き古された決まり文句を型どおりに集めたものだ。
- ・我が国における選挙の実施に関する直接的圧力については、基本的説明として(コミュニケの)執筆者達に指摘しておくが、主権国家に対するいかなる内政干渉も、国際法の基本的規範と原則に反するものである。我が国は主権国家であり、自国においていつどのような形で選挙を実施するかは、我々自身が決める。そのために、外部からの如何なる呼びかけも、

けしかけも、指図も必要ない。

- ・基本的説明として想起しておくが、我が国におけるすべての選挙は国際監視の下で行われた。何らかの国際機構が、我が国からの招待を有しながらも自らの職務を実施する能力を有さないことが判明したからと言って、責任転嫁を試みる必要はない。

(5/6 外務省公式サイト)

【経済】

●露石油大手ロスネフチ社及びスルグトネフチェガス社が、ベラルーシ石油精製所ナフタンへの原油供給縮小する可能性ありと、英メディアのロイターが報道。

ロイターによると、両社は、米国が導入したナフタンを含むベラルーシ国営企業 9 社に対する制裁に抵触することを警戒しているとのこと。

(4/23 ベラパン通信)

●ベラルーシの就業者数、2020 年 3 月からの 1 年間で 3 万 9,800 人減少し、2021 年 3 月時点では 429 万 8,100 人に。

(4/27 ベラパン通信)

●ロシア産原油の対ベラルーシ輸出、5 月は 132.5 万バレルから 60 万 8,000 バレルまで、2.2 分の 1 に減少する見通し。

(5/4 TUT.BY)

●リトアニア税関当局が、4 月 29 日に対ベラルーシ陸上国境で、貨物トラックから約 35 万箱、98 万ユーロ相当の密輸たばこを摘発したと発表。

同様の事例は複数起こっており、4 月 30 日には約 3 万 1,000 箱の密輸たばこがベラルーシからリトアニアのクライペダ港に向かう貨物列車から、4 月 17 日夜には約 200 万ユーロ相当の密輸たばこがベラルーシからリトアニアに向かう貨物トラックから見つかっている。

(5/5 TUT.BY)

【内政】

●エルシモナ中央選挙・国民投票委員会委員長が、憲法改正の国民投票を、来年1月16日に実施期限を迎える地方議会選挙と同時に実施する可能性を示唆。

同委員長はまた、自身の任期が満了する本年12月20日を以て退任する意向を表明。他方で、国民投票が実施される時期に、過渡的な措置として一時的に任務を継続することを求められれば、それを拒否することはできないとも付言。

(4/27 ベラパン通信、TUT.BY)

●捜査委員会が、セルゲイ・チハノフスキー氏及び同人の関係者に関する刑事事件の捜査を終えて送検。

捜査対象となっていたのは、チハノフスキー氏の他、ニコライ・スタトウケヴィチ氏、イーゴリ・ロシク氏、ドミトリー・ポポフ氏、ウラジーミル・ツィガノヴィチ、アルチョム・サコフ氏の計6名。

(4/28 ベラパン通信)

●国家保安委員会(KGB)が、ルカシェンコ大統領親子に対する侵害企図に関わったとされる9名の氏名を公表。

当該9名は、以下のとおり。

アレクサンドル・フェドウータ

ユーリー・ゼンコヴィチ

グリゴリー・コストウセフ

オリガ・ゴルボヴィチ

(以上4名はKGBの拘置所で拘留中。)

ドミトリー・シゲリスキー

アレクサンドル・ペレペチコ

パヴェル・クラジェンコ

ヴィタリー・マカレンコ

イーゴリ・マカル

(以上5名はリトアニア、米国及びウクライナからの送還が必要)。

(4/30 TUT.BY)

●ベラルーシ法務省、政党「ソユーズ」の登録申請を却下。

同党の組織委員会は、2016年以降ベラルーシとロシアの統合を標榜している同名の政治運動プラットフォームに基づいて設立。結党大会は3月6日にミンスクで開催され、政党登録申請は4月2日に法務省に提出されていた。

(5/3 ベラパン通信)

●死刑囚であるコステフ兄弟に対する恩赦(執行停止)を決定。

欧州評議会議員会議(PACE)の死刑廃止に関する一般報告者のヴァルダニャン氏は、今回の措置によりベラルーシの刑法体系からの死刑廃止に向けて一歩進んだと評価。

ベラルーシは欧州及びCIS諸国で唯一、現在も死刑が適用されている国であり、過去20年間で400名以上が銃殺刑に処されている。

イリヤ及びスタニスラフのコステフ兄弟は、2019年4月に隣人の学校教師の女性を殺害し、被害者宅からコンピューターや食料品を盗み出して放火した罪で2020年5月に死刑判決が確定していた。犯行当時、兄弟は20歳と18歳で、判決確定後、家族が署名運動を行い、ルカシェンコ大統領に減刑を嘆願していた。

(5/4 ベラパン通信)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表、アレクサンダー・ファン・デア・ベレン現大統領と会談

両者は、ベラルーシにおける抑圧のエスカレーション、エリート層内の分断、政治犯の状況などについて議論した。

(4/27 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ民主勢力代表、EU加盟国の外務大臣及び各国議会の国際関係に係る委員会の長に対して書簡を送付。

書簡の中でチハノフスカヤ氏は、ベラルーシの危機打開のためのハイレベル国際会議の開催を呼びかけ。同会議にはベラルーシの民主勢力と現政権の代

表者、並びに EU、ロシア、米国及び英国の政府、議会、市民社会団体の代表者が参加すべきであるとした。

(5/4 ベラパン通信)

(了)